

## 第2次

# 浜松市環境基本計画

豊かな自然の恵みを未来へ「ツナグ」環境共生都市  
～住み心地よさ日本一、はままつの環境ブランド力の確立～



平成27年3月

 浜松市

## — 目 次 —

環境の将来像	1
<b>第1章 基本的事項</b>	
1.1. 環境基本計画とは	2
1.2. 策定の背景	2
1.3. 計画の位置づけ	4
1.4. 計画の対象地域	5
1.5. 計画の期間	5
<b>第2章 本市の現状と課題</b>	
2.1. 第1次計画の評価による現状と課題	6
2.2. 新たな課題	10
<b>第3章 環境の将来像を達成するための方針</b>	
3.1. 基本方針	13
3.2. 総合的・横断的視点で推進する環境行政の方針	14
<b>第4章 施策の方向性</b>	
4.1. 健全な生活環境が保全される都市	15
4.2. 資源を有効に活用する循環型都市	27
4.3. エネルギーを無駄なく賢く利用する都市	33
4.4. 多様な自然と人々の暮らしが共生する都市	39
4.5. 環境活動を実践する人を育てる都市	46
4.6. 総合的・横断的な施策の方向性	53
<b>第5章 環境配慮指針</b>	
5.1. 環境配慮の基本的な考え方	59
5.2. 開発事業実施時における環境配慮	60
<b>第6章 計画の推進及び進捗管理</b>	
6.1. 計画の推進の基本的な考え方	71
6.2. 主体別行動指針	71
6.3. 計画の進捗管理の基本的な考え方	72
6.4. 計画の推進及び進捗管理の体制	72
<b>— 添付資料 —</b>	
(付属資料) 用語解説	75

※ 下線が付いている用語は付属資料の用語解説で解説しています。ただし、同じ用語が複数回記載されている場合には、各章の最初の用語にのみ、下線を付けています。

# 環境の将来像

## 豊かな自然の恵みを未来へ「ツナグ」環境共生都市

～住み心地よさ日本一、はままつの環境ブランド力の確立～

浜松市総合計画を踏まえ、2045年を見据えて、  
『豊かな自然の恵みを未来へ「ツナグ」環境共生都市』  
を「環境の将来像」に掲げます。

全国第2位の広大な面積を有する本市は、都市的な機能が集積する市街地と、天竜川、浜名湖、遠州灘、南アルプスなど多様な自然を合わせ持つ国土縮図型の都市です。

また、温暖な気候に恵まれており、全国トップクラスの日照時間や市域の約7割を占める豊かな森林、そこに生息・生育する多様な動植物、豊富な水源や森林資源を活用して発達した産業や伝統文化が「浜松らしさ」を生み出しています。

本市において大気・水質などの生活の安全の確保、人や都市機能などの集約化、子供から高齢者まで利用しやすい公共交通機関の整備、緑豊かな自然の保全・再生、エネルギーの地産地消による自給率の向上により、「誰もが安心してくらする住み心地よさ」を高めることで、多くの人が住んでみたい、多くの企業が進出したい都市としての、「はままつの環境ブランド力」を確立し、豊かな自然・人々のくらし・都市の成長が調和した、未来へ「ツナグ」環境共生都市を目指します。

### 「はままつの環境ブランド力」とは

本市が、多くの人や企業に選ばれる都市となるためには、  
「安心してくらする住み心地よさ」が重要となります。

豊かな環境資源と環境に対する取り組みにより、住み心地よさによる「住民幸福度」を高め、行ってみたい、住んでみたいと感じる良質な都市のイメージを、「はままつの環境ブランド力」とします。